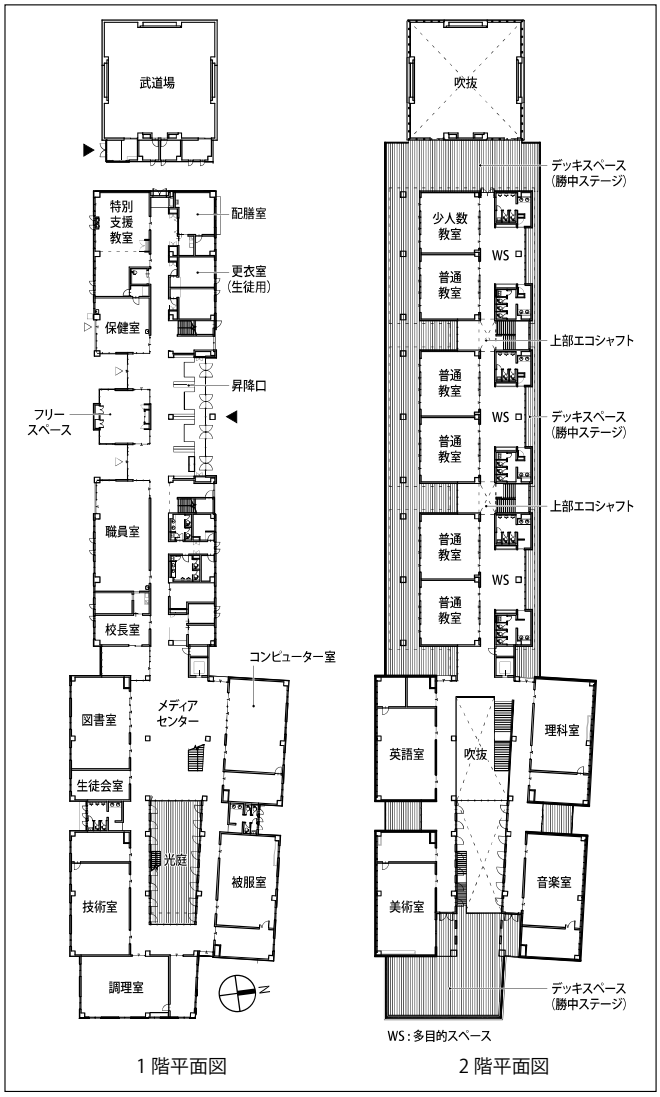
優秀賞
生活施設
（四国地区）

勝浦町立勝浦中学校

南西側より校舎全景を望む

徳島県産杉板の優しい表情に包まれた普通教室

所在地	徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 45-1
敷地面積（m²）	24,160.27
建築面積（m²）	4,092.02
延床面積（m²）	5,580.86
構造／階数	RC 造、一部 S 造／地上 2
事業者	徳島県勝浦郡勝浦町
設計者	（株）大建設計
施工者	戸田建設（株）、（株）岡田組
竣工年月	2013（平成 25）年 3 月
総工事費	769 百万円



勝浦中学校は、勝浦川の流れと伸びやかな山々に囲まれた環境の中で、勾配屋根の採用や分節化などにより地域景観に配慮したデザインとなっており、動と静とを巧みに取り入れた内部空間を持つ学校である。

県産材の杉を「焼き杉パネル」などにして、それらを教室をはじめ内外装材として多く使用しており、木の香りに満ちた空間となっている。ゆったりとしたデッキや多目的スペースを設け、授業だけではない学校生活の時間をゆったりと過ごせるものとなっている。

フリースペースは、生徒だけでなく、地域住民にも多目的に利用されており、特に玄関正面にあるフリースペースは、学校側と保護者、地域住民との接点として有効に活用されている。正門近くに設けられた「歴史の庭」は、従来、敷地内に点在していた記念碑などを集約したもので、中学校に対する愛着につながる工夫であり、地域社会との結びつきを大切にした公共性に優れた企画といえる。

自然と融合した優しい環境の中で

本校は、山々に囲まれ、その谷間を流れる勝浦川沿いに位置している。校舎の内外に県産杉がふんだんに使用されており、木のむくもりを感じるとともに、地域に溶け込んでいる。校舎内は、自然採光を確保した光溢れる空間で、太陽光発電の自然エネルギーも活用している。また、ベランダのウッドデッキテラスは、生徒たちの笑い声が溢れる憩いの場となっている。自然環境に配慮した安全な環境の中での学びは、生徒たちの豊かな人間性や地域への愛着を育み、たくましい成長につながると確信している。

（安西栄美・勝浦町立勝浦中学校教頭）